

製品安全データシート

作成 平成 26 年 4 月 1 日

整理番号 No. 6501-3

製品名 ローラーズルー

物質の特性

区分 : 混合物
化学名 : 混合溶剤

成分名	含有量	官報公示番号 (化審法)	CAS No.	労働法通知 対象物質	P R T R 法
ケロシン	20～30%	9-1702	8008-20-6	非該当	非該当
界面活性剤	1～10%			非該当	非該当

危険有害性の要約

GHS 分類

物理学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
健康に対する有害性	可燃性・可燃性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	水反応性可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分外
	急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	分類出来ない
皮膚腐食性・刺激性	区分 2	
眼に対する重篤損傷・眼刺激性	区分外	
呼吸器感作性	分類出来ない	
皮膚感作性	区分外	
生殖細胞変異原性	区分外	
発ガン性	区分 2	
生殖毒性	区分外	

環境に関する有害性	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分外
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分外
	吸引性呼吸器有害性	区分1
	水生環境急性有害性	分類出来ない
	水生環境慢性有害性	分類出来ない

ラベル表示
絵表示又はシンボル



危険性の分類

分類の名称	: 非危険物
危険性	: 消防法上では、非危険物に該当しますが、開放状態での使用や保存加熱等により組成変化を起こした場合、引火する危険がある。
有害性	: 高濃度の蒸気は麻酔作用がある。蒸気は眼と気道を刺激する。その後に続いて肝臓、腎臓と心臓障害が起こりうる。眼および皮膚と接触すると、刺激ないしは炎症が起きる。

応急処置

眼に入った場合	: 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。後、付着または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火方法	: 周辺火災の場合 速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合には、容器および周囲に散水して冷却する。
	: 着火した場合 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。火災の際、分解が起こり、有毒で刺激臭のある反応生成物が生じる。その反応生成物は主に塩化水素（ガス）とホスゲン（ガス）からなる。したがって、消化にあたっては、毒性を考慮し、保護衣、防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤	: 炭酸ガス・泡・粉末（ドライケミカル）消火器。

 漏洩時の措置

- 陸上の場合 : 多量の場合は土のうなどで流出を防ぎ、ポンプで吸い取る。少量の場合は吸着マットなどで吸い取る。
- 海上の場合 : オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マットなど吸い取る。薬剤を用いる場合は運輸省令で定めた技術上の基準に適合したものでなければならない。
-

取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 炎、火花または高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。(危険物の規制に関する政令第25条)
- : 常温で取り扱うものとし、その際、水分、キョウ雑物の混入に注意する。
- : 静電気が発生する恐れのある設備には、蓄積する静電気を除去する装置を設けること。
- : 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい、そのため換気および火気などへの注意が必要である。
- : 危険物が残存している機械設備などを修理する場合は、安全な場所において、危険物を完全に除去した後に行うこと。(同上第24条)
- : 屋内作業場のうち通風が不十分な場所では有機溶剤の発散源を密閉する設備、局所排気または全体換気装置が必要。
- 保管 : 炎、火花または高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。(危険物の規制に関する政令第25条)
-

暴露防止措置

- 管理濃度 : 規定なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 未設定
- : ACGIH : 未設定
- 設備対策 : 屋内作業場等のうち通風が不十分な場所では有機溶剤の発散源を密閉する設備、局所排気または全体換気装置が必要。(有機溶剤中毒予防規則第6条)
- 保護具 : 呼吸用保護具 : 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。
- : 眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
- : 皮膚の保護具 : 必要に応じて耐油性ゴム手袋、保護前掛けを使用する。
- : その他 : 導電性安全靴
-

物理/化学的性質

- 外観等 : 乳白色液体
- 比重 : 0.93 ± 0.1
- 蒸気圧 : 測定データなし
-

危険性情報

引火点	: なし (密閉式)
発火点	: 測定データなし
爆発範囲	: 上限 Vol% 測定データなし 下限 Vol% 測定データなし
安定性・反応性	: 安定。強酸化剤との接触を避ける。

有害性情報

急性毒性	: 急性毒性はきわめて低い 経口 ラット LD50 2000mg/k 以上 (溶剤分として)
遺伝子毒性	: 測定データなし
長期または反復暴露の影響	: 反復または長期にわたる皮膚との接触により皮膚炎を起こすことがある。 肝臓と血液に影響を与えることがある。
変異原性	: 有用な情報なし。

環境影響情報

分解性	: 現在のところ有用な情報なし。
蓄積性	: 現在のところ有用な情報なし
その他	: 現在のところ有用な情報なし。

廃棄上の注意

- : 廃液は、ドラム缶、その他の密閉できる容器に入れて、処理を行うまでの期間適切に保管すること。
- : 廃棄物の最終処分は、関係法令を遵守するとともに、特に次のことに留意して行うこと。
- : 廃棄物は埋め立て、投棄等を行ってはならない。
- : 事業場内で処理する場合は、焼却を行うこと。
 - ①焼却排ガス、大気汚染および水質汚濁を防止すること。
 - ②焼却残渣については、必要に応じて適切に処理を行うこと。
- : 外部に処理を委託する場合には、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に運搬または処理を委託すること。その際、地下水汚染の要因とならない方法で処理する必要があること等、適正処理を行うために必要な情報を付記し、かつ、処理しやすい形で引き渡すこと。

輸送上の注意

- : 容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- : タンク車 (ローリー) 等への充填、積み降ろしの際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めをする。
- : ローリー等に充填の際、静電気の発生を防止するため、接地するとともに充填パイプの先端が完全に液体へもぐらない間は出来るだけ遅い流速で充填する。

適用法令

- : 労働安全衛生法: 非該当
- : 通知対象物質 非該当
- : 消防法 非危険物

: 廃棄物の処理および清掃に関する法律
: 化学物質管理促進法（P R T R法） 非該当

引用文献 ” Registry of Toxic Effect of chemical Substances” N I O S H (1992)
” 米国 O S H A 危険有害性の周知基準 (第 5 版)” J E T O C (1995)
” キュンター・ホルム編” 危険物ハンドブック” シュブリンガー・フェアラー東京 (1991)

お願い この製品安全データシートは、弊社の持つ知見をもとに充分注意を払って作成しております。しかしながら、記載内容は通常の使用におけるものであり、特殊な条件下での使用におけるものではありません。貴社での取扱いにおかれましては、適用法令に従うと共にこの製品安全データシートを参考にして、貴社の使用条件に即した取扱い方法を確立の上、安全に使用して頂きたいお願い致します。尚、記載内容の内、含有量、物質的／化学的性質等の数値は測定値の一例です。